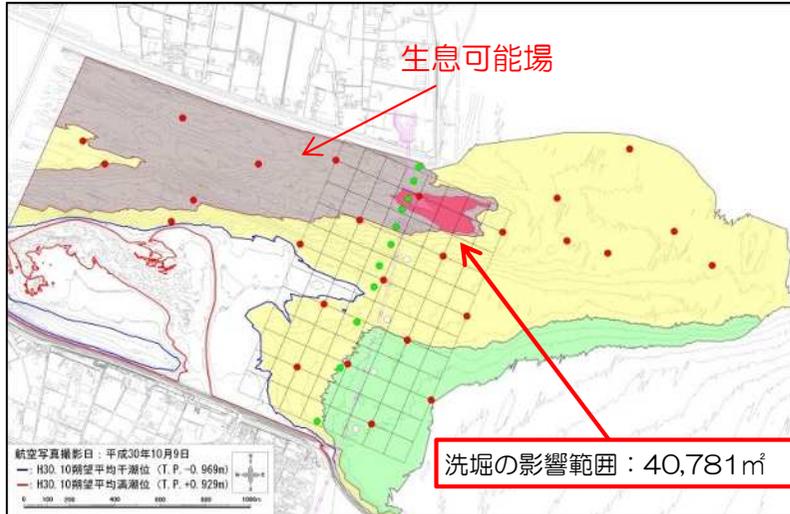


# ■橋脚周辺部の洗掘による影響評価 ～ハビタット区分3の指標種に対する影響評価～



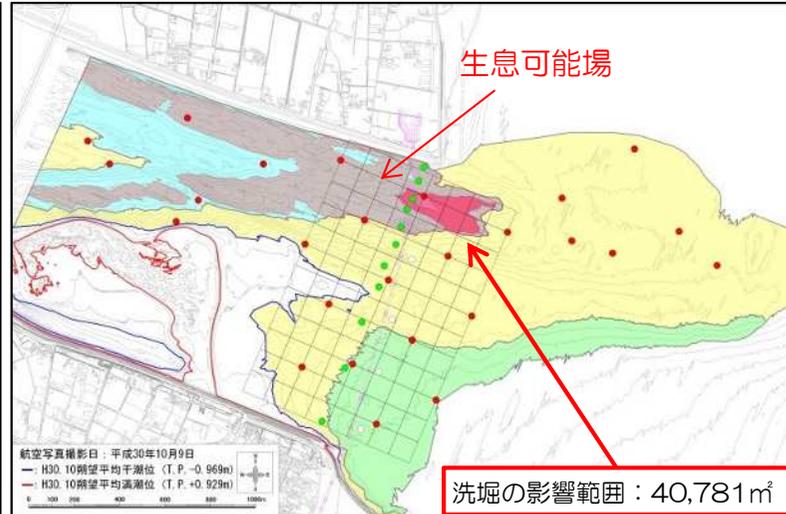
平成30年度出水期の洗掘範囲に対して、ハビタット区分3ではシノブハネエラスピオに対して5.3%、カタマガリギボシイソメ、オウギゴカイに対して8.8%の影響になることが推定された。

## ■シノブハネエラスピオへの影響範囲



項目	シノブハネエラスピオ
生息可能場面積 (m <sup>2</sup> )	769,264
洗掘面積 (m <sup>2</sup> )	40,781
洗掘の影響評価	5.3%

## ■カタマガリギボシイソメ、オウギゴカイへの影響範囲



項目	カタマガリギボシイソメ オウギゴカイ
生息可能場面積 (m <sup>2</sup> )	461,185
洗掘面積 (m <sup>2</sup> )	40,781
洗掘の影響評価	8.8%

## ～ まとめ ～ 橋脚周辺の洗掘の影響評価結果

洗掘により影響を受けるのは区分3のみであり、その影響値は5.3%である。

区分3の指標種に対して最大で

- シノブハネエラスピオ 5.3%
- カタマガリギボシイソメ 8.8%
- オウギゴカイ 8.8%

の影響を推定（※定量評価）

- 区分3に出現した指標種は、区分2にも出現している。
- 作成したモデルからも、区分2と区分3の両方に生息が可能であることが示されている。

以上を踏まえ、区分3に出現した種が、区分2にも出現していることから、調査内容を変更することなく、今後も適切にモニタリングを実施して監視していく。